



障がいのある方の雇用に取り組む

# 公益財団法人京都府立 丹波自然運動公園協会 (船井郡京丹波町)

「京都はあとふる企業」です

**【主な事業内容】**公園の管理運営、スポーツ普及振興、競技力向上に関する事業等  
**【障がいのある方の主な仕事】**運動施設の管理作業

## 【障がい者雇用の経緯】

10年以上前に当時の京丹波町の町長と当協会の理事長との懇談の中で、障がい者雇用の促進が話題となり、それを機に丹波支援学校からの実習を受入れたのがきっかけです。スポーツ好きで体力のある方で、野外での作業も問題なくこなせると判断し採用となりました。



## 【Fさんに聞きました】

11年目です。仕事が覚えられず、繰り返して教えてもらい、メモを取り覚ええました。お陰で今はほぼ出来るようになりました。

色々な仕事があり、どれもやり甲斐があります。広い施設を最後までやり切り、きれいになった時はうれしいです。分からない事は、ペアの方に聞きます。

夜は8時に寝て、30分の自転車通勤で7時に一番に出勤し、車庫の解錠や道具の準備を自分でするようにしています。

家では、筋トレで体力づくりをしています。

## 【周りの理解ある多くの方に支えられて】

仕事は、各施設(陸上競技場、野球場、テニスコート、屋内練習場など)の管理作業で、内容は多岐にわたります。採用当初は、教えるのが難しく、「やって見せる」ことを何度も繰り返す中で覚えていきました。

所属を体育施設担当グループに固定し、必ずペアで作業し、職場環境を変えないようにしています。また、言葉が直ぐに出ないところがあり、言葉が出るまで待つなど、ゆっくり対応できる人をペアにするようにしています。

思い込みが強く、「ゆっくりで良い」と言っても、一番早く出勤し、一人で作業用具の準備をします。これは彼なりのルーティンワークになっているようです。働く環境が、スポーツ好きな彼に合っており、長く働くことに繋がっているようです。

特別支援学校の実習も続けて受入れています。採用については、職員が地域の人たちをよく知っているのも、地元の方で考えて行きたいと思っています。(管理課長談)